

加西市の水道料金は高いのか

一般質問



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 現在の上下水道施設の整備状況及び今後の管理計画についてお尋ねしたい。

答 上水道の施設は、配水池が8カ所、ポンプ場が6カ所あり、送水管が4km、配水管が445km、合計449kmで、そのうち82%の368kmが耐震適合管となっています。平成24年度策定のアセットマネジメントにより、優先順位の高い老朽管から順次更新作業を行っています。下水道の整備率は、公共下水道、農業集落排水事業、コミュニティプラントの区

域においては100%ですが、浄化槽区域においては整備率が71%で、加西市全体で99.8%になっています。污水处理施設は統廃合事業を進めており、農業集落排水13施設、コミュニティプラント1施設を順次廃止し、事業が完了する平成43年度には11施設になる予定です。

問 加西市の水道料金は高いというイメージがあるが、2度の値下げと2カ月の基本水量が20立米から10立米になったことにより割安感が出てきたと思うが、現状についてお尋ねしたい。

答 一般世帯2カ月での標準的な使用量とされる40立米では、北播において三木市、小野市に次ぐ3番目の安さとなります。しかし、ワンルーム賃貸住宅

居住者のサンプル調査を見ると、71.4%の方が2カ月で12立米以下の使用量であり、基本水量の少ない单身世帯では加西市が北播で一番安いという状況です。暮らし方によっては加西市の水道料金が北播で一番安いということもPRしていきたいと考えています。

問 下水道も基本水量を10立米に下げることにより、基本料金を下げて使用量の少ない方の負担軽減はできないのか。

答 基本料金は、検針や施設の維持管理にかかる固定的な費用を賄うものとされています。使用者の方々に適正な負担をいただくことを基本にしながら、今後基本水量の見直しについては、慎重かつ総合的に検討していきたいと考えています。

加西市保有の絵画について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 12月議会で売却が議決された、白髪一雄画伯作「タジカラ男」の現在の状況について。

答 12月議会の閉会挨拶の中で、執行権の裁量の範囲内で最良の判断をしたいという旨の市長の発言を踏まえ、再度尼崎市と協議をしたところ、加西市でのいきさつを把握されておられ、寄託に関して前向きに検討したいとの回答があり、現在はその方向で基本合意に至っています。

問 「タジカラ男」を高額で売より、他市への寄託を選択した理由及び寄託の条件について

答 眠れる価値ある作品をいかに適切に保管するかに主眼を置いて発想し、加西市がその価値を保有したまま作品を生かす選択をしました。また、傷みが激しい、白髪画伯の「赤色、赤光」という作品も尼崎市に寄託し、修復もしていただけます。寄託の条件は、3年間で寄託期間とし、その後申し出がなければ寄託を継続、申し出があれば寄託を解除することも可能です。また、尼崎市で定期展示、維持保存されますが、保管や維持管理等の費用は加西市には発生しません。

問 市長の思いについて。

答 加西市からの寄託の申し出を快く受けいただきました尼崎市に感謝申し上げます。また、12月議会で活発に議論いただけたことは本当に素晴らしいことで

ありましたが、結果的に議決とは違う選択になったことはご容赦いただきたいと思います。しかし、今後も議会の議決を尊重する姿勢に変わりはありません。そして、この結果については多くの市民の皆様喜んでいただけると確信しています。

問 加西市保有絵画の活用方法と美術館構想について。

答 地域の公共施設で展示にふさわしいところがあれば積極的に対応します。美術館構想については、現在検討中の未来型児童館に地元出身作家の作品展示スペースをつくることも可能性の一つと考えています。

■その他の質問項目

- ・ 地方創生拠点整備交付金事業
- ・ 廃棄物処理の現状と今後の方針